

今月の人

県土整備部の未来は

参事兼

建設技術振興課総括課長

小野 雅章



建設技術振興課も三年目に入りました。

一般行政職でありながら土木部には(今は県土整備部と名前が変わっていますが、)これまでに3回、あしかけ17年余(県職員生活31年余のうち)お世話になっていますが、土木部に戻るたびに時の流れと建設業の置かれている状況の変化に、今昔の感を抱いています。

県職員としてのスタートが一関土木事務所であったためか、性にあっていたためか、土木に愛着を感じ、建設企業の方々とも率直に意見を言い合うことができ、思いを共有できたとの感じを持って、今日に至っています。

昭和40年代の後半から50年代は、土木事務所の雰囲気も若く、活発で技術職員も工事施工を通じて現場代理人などと技術論を交わし、指導に努めるなど、今よりも密な関係があり、それはそれで好ましく感じられました。2回目の時は、公共事業が拡大するなかで、建設業は若者からは3Kだ5Kだと嫌がられ、その雇用確保のために、業界自らが雇用改善策を講ずる必要に迫られました。それはそれで微笑ましい思い出となっています。

3回目の今回は、これまでに例をみないような公共事業の削減が進められるなかで、建設企業は新分野進出などの経営体質の強化が求められ、県も知恵を絞って様々な支援策を模索し、実行するなど厳しい状況のなかにありました。

この間の建設業を取り巻く環境の変化については、私自身、景気の変動の波は想定範囲内ではあったものの、国、地方公共団体の財政状況や公共事業に対する期待感の変化は想定外だったと感じていましたが、こうした状況にあっても、その変化をしっかりと受け止め、お互いが役割を明確に、今何をやるべきなのかを考え、実行することが解決への道筋になるものと感じ、取り組んできました。

今年度はまさに正念場であり、さらに気を引き締め、業界団体等と更なる連携を深め、頑張っていきたいと考えています。

こうしたなかで、一方では、最近の土木職員について、技術力がなくなったとか現場を知らなくなったという声が、パートナーである建設企業からだけでなく、身内からも聞こえるようになりました。

残念な話ですが、公共事業の削減傾向が持続し、土木技術職員の将来のあり方が不透明となりつつあるなかで、県土整備部職員として技術、事務の如何を問わず、一人ひとりが自ら考えるよい機会として捉え、今何をなすべきか、将来に何を残すべきかなどを組織として真剣に考えていくべきと感じています。

この時期に、県土整備部に所属していることを幸運として、気概をもって、前向きに挑戦していきましょう。

県土整備部が不滅であることを信じて！

4・5月 主要行事

● 木賊川大規模事業評価委員会現場調査

- 期日 4月6日(水)
- 時間 13時30分～16時30分
- 場所 滝沢村穴口
- 担当 盛岡地方振興局土木部

● 春の全国交通安全運動に伴う出動式等

- 期日 4月6日(水)
- 時間 7時～8時
- 場所 岩泉警察署
- 担当 岩泉土木事務所

● 建設業協会一関支部との懇談会

- 期日 4月12日(火)
- 時間 13時30分～14時30分
- 場所 一関合同庁舎会議室
- 担当 一関地方振興局土木部

● 釜石市大渡橋 開通式

- 期日 4月17日(日)
- 時間 10時～
- 場所 釜石市
- 担当 都市計画課

● 平成17年度地方振興局土木部長及び公所長会議

- 期日 4月22日(金)
- 時間 13時30分～17時
- 場所 サンセール盛岡
- 担当 県土整備企画室

● 鷹生ダム試験湛水式

- 期日 5月11日(水)
- 時間 11時～13時
- 場所 鷹生ダム現場
- 担当 鷹生ダム建設事務所

● 第2回県立都市公園指定管理者選考委員会

- 期日 5月13日(金)
- 時間 13時30分～15時30分
- 場所 エスポワールいわて
- 担当 都市計画課

● 東北国道協議会通常総会

- 期日 5月26日(木)
- 時間 14時～17時00分
- 場所 盛岡グランドホテル
- 担当 道路建設課